

## 『藤農便り』 第 5 号

### 農業生産法人 藤野倶楽部

### 宮本 透（自然文化誌研究会）

春から夏へ季節が移り変わる時期、藤野の山には新緑の木々からまった藤の花が咲き乱れていました。萌黄色に薄紫が入りまじった光景は、まさに藤野という地名の由来ではないかと思われるほどに印象的でした。日の出から日没までの時間が長くなってきましたが、畑の仕事は播種・育苗・植え付け・収穫・出荷・除草等々、次から次へと続きます。農民 2 年目、相も変らぬ土まみれの生活です。

#### ・冬の反省

昨年夏に始まった野菜の出荷ですが、冬が近づくにつれ収穫できる品目が少なくなってきます。12 月になると畑の植え付け状況から、2 月には出荷できる野菜は尽きてしまうことが予想されました。社長に「まつばの百笑マルシェを休ませてほしい」と相談に行くと、「とんでもない！どのような思いでマルシェをつくってもらったのだ。何とかしろ！」としかられました。社長の言うことはもっともで、私もプロというものは契約したことは必ず履行するのが必要条件だと思います。厳冬期にわずか数㎡のマルシェコーナーに置く野菜も作れないのではプロ農民とは名乗れません。

1 月には大雪のためビニールハウスが倒壊、頼みの葉物野菜も無くなってしまいました。雪を掘って凍りついたキャベツやレタスを 1 つ 2 つ収穫し、サトイモや津久井在来大豆の袋と一緒にと並べましたがマルシェの棚はガラガラです。2 月から 4 月は屈辱の日々でした。ピオ市にくる津久井の若手農家はノラボウナ・ニンジン・カブ等新鮮な野菜を毎回販売しています。社長は激怒、「営農 40 年のプロ農家と元農業高校の先生がいて、何で藤野倶楽部は売る野菜が無いのだ！お前たち 2 人をクビにして若い者を雇ったほうがよっぽど会社のためになる」と怒鳴られました。

3 月に播種したコマツナやシュンギク、11 月に定植したキャベツが収穫できるようになり、久しぶりにマルシェの棚が安心農園の野菜でうまっ

たのは 5 月 1 日のことでした。この記念すべき 2016 年のメーデー、「この冬の屈辱を忘れず、津久井の若手農家のように野菜を年間通して生産・出荷できるようしっかり勉強しよう。2 度目のクビはコリゴリだ」と心に誓ったのでした。

#### ・自給農耕ゼミ・藤野農学校準備

中央線藤野駅ホーム北側に日当たりのよい農地があります。昨年末、社長が「藤野駅近くの農地を買ったから、しっかり管理するように」というのです。ホームで電車を待つ人によく見える農地なので、特色ある作物を栽培すれば藤野倶楽部の PR になります。また駅から徒歩数分なので、誰でも気軽に訪れてもらえます。これから取り組む雑穀栽培や自給農耕ゼミの圃場等に活用したいと考え、木俣師に相談しました。

いろいろなアイデアを話していますが、その 1 つが藤野農学校です。街のサラリーマン家庭に育ち普通高校出身の私にとって、学大職業科で農業を学んだことは人生にとって大きな財産になっています。街に生活する農に関心のある人たちに実践の場を提供することは大切なことだと思います。ちえのわ農学校を卒業した子どもたちが藤野で引き続き農業を学ぶなんてことを考えると楽しくなります。

今は日々の仕事に追われ具体的な案は何もないのですが、6 月には雑穀栽培を始めます。中央線にお乗りになったら、車窓から藤野駅前の農地をご覧ください。

#### ・藤野倶楽部牧野地区の農業

藤野倶楽部は名倉地区に安心農園と佐野川地区に茶畑がありますが、牧野地区には農地がありませんでした。昨年夏に小さなビニールハウスを建ててもらい秋植えの野菜苗を育てていましたが、このハウスも大雪でつぶれてしまいました。社長は「雪でも絶対つぶれない温室を建ててやる。そのかわり農園に植える苗は 1 本も買ってはいけな

い。すべて育てるように」というのです。そして完成したのがこの温室です。

養護学校に勤めているときから苗作りをしてきましたが、春植えの苗作りは温度管理が大変です。3 月末に放射冷却のあった日の最低気温は $-5^{\circ}\text{C}$ です。2 月に落ち葉を踏みしめて作った温床で発芽させた夏野菜の苗にビニールをかけ、さらに毛布で覆って寒さを防ぎました。反対に日中陽射しが強いと温室の中は  $30^{\circ}\text{C}$  を越えるので、遮光し扉や窓を開け室温を下げなければなりませんし、灌水にも気を使わないといけません。



完成した育苗用温室

ゆい農園・宮本農園・小島農園の皆さんには育苗についていろいろなアドバイスをいただき感謝しています。4 月のピオ市の後、つくいやさいのメンバーに育苗を見てもらいました。みんなからいわれたのは「こんなに土を使っているの！もったいない」でした。農業高校では「3.5 号ポリポットでたっぷり用土を入れ、根張りのよい丈夫な苗を育てましょう」と教えていたので目からウロコでした。この日から販売・会員用は 3.5 号、農園用は 3 号と用土の量を節約しています。毎日温室にいと、レストランにいらっしゃるお客様から「苗を売っているの？」と声をかけられます。今は F1 の種子をかなり使っていますが、固定種や自家採種の苗も徐々に増やしたいと思っています。

レストランのカウンター席は藤野の山や谷が見渡せる人気のスポットです。眼下にのんびりと山羊が草を食むススキ原が広がっています。この草原を開墾して農園にしようと社長がいいだしまし

た。社員総出で重機の掘り起こした木や草の根、大きな石などを取り除き肥料をまいて耕しました。猪よけのフェンスを張って約 1 反の農園が出来上がりました。これから土作りをして利用会員を募るのですが、畑仕事の後やまなみ温泉で汗を流し、自分たちで収穫した新鮮な野菜を味わってキャンピングカーやギャラリールームに泊まるという週末を楽しんでいただきたいと思います。



開墾した農園

この新しい農園の敷地は、リニア中央新幹線の工事残土捨て場に売らないかという話があったそうです。社長は「この土地は絶対売らない。残土捨て場なんかにはさせない」と話してくれましたが、私もこの農園を実り豊かな土地に育てたいと思います。リニア中央新幹線は、「命より金」の日本帝国主義がその生き残りをかけ原発・兵器とともに外国に売り込もうとしている最悪のものです。私の尊敬する三里塚芝山連合空港反対同盟の市東孝雄さんは空港敷地内の農地を守り空港建設を阻止し続けていますが、私もこの農園を耕すことでリニア中央新幹線工事にささやかに抵抗していきます。

#### <お知らせ>

藤野倶楽部は今年も INCH 賛助会員です。INCH 会員への特典として、ナマステ今号を持参された方には「百笑の台所」の食事料金を 10% 割引いたします。アクセスは藤野倶楽部の HP をご覧ください。